

地域連携のための 教員紹介 2026



岩手県立大学

地域に 未来に 多様なアートを

岩手県立大学
宮古短期大学部

Iwate Prefectural University, Miyako Junior College

地域連携のための教員紹介 2026

—目次—

大志田 憲	・ ・ ・ ・ ・	1
大前 義幸	・ ・ ・ ・ ・	2
菊池 護	・ ・ ・ ・ ・	3
河野 暁子	・ ・ ・ ・ ・	4
児玉 英明	・ ・ ・ ・ ・	5
鼻高 茂樹	・ ・ ・ ・ ・	6
鈴木 将人	・ ・ ・ ・ ・	7
田中 宣廣	・ ・ ・ ・ ・	8
千葉 洋平	・ ・ ・ ・ ・	9
東根 一樹	・ ・ ・ ・ ・	10
三村 敏之	・ ・ ・ ・ ・	11
和川 央	・ ・ ・ ・ ・	12

■氏名 大志田 憲（おおしだ けん）

■職位 学科長・教授

■専門分野 情報工学

■自治体等における活動実績

◆審議会委員等（令和5～7年度）

- ・いわて観光立県推進会議幹事会（委員），令和2年6月～
- ・公益財団法人ふるさといわて定住財団（評議員），令和4年2月～
- ・岩手県三陸鉄道沿線地域等公共交通活性化協議会（委員），令和6年3月～令和8年3月
- ・宮古市地域経済活性化連携会議（委員），令和6年8月～
- ・宮古市産業立市ビジョン策定委員会（委員），令和6年8月～令和7年3月
- ・宮古市観光審議会委員（会長），令和5年11月～
- ・宮古商工会議所事業支援協議会委員（会長），令和6年8月～
- ・岩泉町情報公開・個人情報保護審査会（委員），令和2年9月～令和6年8月
- ・三陸宮古のいいイロプロモーション会議（会長），令和5年2月～令和8年3月
- ・岩手県立宮古水産高等学校地域魅力化推進委員会（委員），令和4年7月～
- ・岩手県立宮古商工高等学校運営協議会（委員），令和6年4月～
- ・岩手県立宮古商工高等学校 コンソーシアム会議（委員），令和6年4月～
- ・大学基準協会短期大学認証評価（委員），令和6年4月～令和8年3月

◆研修会講師等（令和5～7年度）

- ・岩手県復興教育スクール「プログラミング講習会」岩手県立宮古商工高等学校（商業校舎），令和7年度
- ・宮古商工会議所職員研修ITデジタル化研修会（講師），令和5～6年度
- ・科学技術振興機構SSH一関第一高等学校（講師），令和6年度
- ・宮古市職員Office研修（エクセル基礎）（講師補助），令和6年度

◆地域との協働研究（令和4～7年度）

- ・「産地直売施設における繁忙期等を中心としたPOS、移動体位置情報データの活用による販売および利用者状況の可視化と予測に関する検討」（研究代表者），令和7年度，岩手県沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター
- ・「沿岸圏域への移住定住促進に向けた課題の明確化と効果的な情報発信について」（研究代表者），令和6年度，岩手県沿岸広域振興局
- ・「持続可能な観光資源の有効活用およびニーズ分析」（研究代表者），令和4年度，宮古観光文化交流協会
- ・「インバウンドに対応した展示ガイドシステムの開発」（研究分担者），令和7年度，宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム

■アピールポイント

これまで県市町村等の委員や、研修会講師を担当してきました。また、情報技術を活用し、地域における各種データの可視化や分析等の協働研究を行なってきました。上記以外につきましては、Web上で大学の研究者総覧をご参考にしていただければと思います。

詳細情報はこちら



■氏名 大前 義幸（おおまえ あきゆき）

■職位 准教授

■専門分野 英文学・比較文学・日英交流史



■自治体等における活動実績

- ・宮古市国際交流委員会(委員) 令和2年～令和6年
- ・宮古市民文化会館運営協議会(委員) 令和5年～令和7年

■アピールポイント

私は、19世紀イギリス文学を中心に、階級意識や貧困、特に女性の貧困に焦点を当てた研究を進めております。また、夏目漱石や、江戸から明治期にかけての沖縄における外国文化の受容と影響についても、文献と史資料の両面から調査を重ねております。

19世紀のイギリス社会が直面した諸問題は、形を変えながらも、現代の日本においても繰り返し現れています。こうした過去の文学や歴史を丁寧に読み解くことによって、現代の社会課題を見つめ直す視点や、解決のヒントを見出すことができると考えています。

これまでの研究で培った知見を、研究の枠にとどめることなく、広く社会の皆様の困りごとや課題解決に役立てていきたいと考えております。

詳細情報はこちら



■氏名 菊池 護（きくち まもる）

■職位 講師

■専門分野 情報工学

■自治体等における活動実績

- ・河川整備基金助成事業（平成16年4月～平成18年3月）
- ・経済産業省地域新生コンソーシアム（平成17年4月～平成20年3月）
- ・中小企業経営支援等対策費補助金（平成28年10月～平成30年3月）
- ・宮古市職員対象Office研修講師（令和6年8月2日）
- ・宮古市特別職報酬等審議会委員（令和7年度）

■アピールポイント

工学と教育に関する様々な経験をしてきました。皆さまが抱えている地域の様々な課題に対して、工学的なアプローチで貢献していきたいと思います。

私の研究のキーワードは次のようなものです。
ものづくり・DX関連（CAD/CAM/CAE、組み込みシステム）、システム開発、データ解析、XR

詳細情報はこちら



■氏名 河野 暁子（こうの あきこ）

■職位 教授

■専門分野 臨床心理学、コミュニティ心理学

■自治体等における活動実績

【地域委員】

・岩泉町行政不服審査会 委員（令和4年4月～）

【地域講座】

・岩手県内の自治体において、ゲートキーパー養成講座や傾聴ボランティア養成講座、働く人のメンタルヘルス講座、コミュニケーション講座等の講師をやってきています。

■アピールポイント

臨床心理士としてカウンセラーの仕事もしています。岩手の民俗芸能やお祭り、民話や郷土料理などに魅了されています。学生と地域を回るフィールドワークも行っています。何か地域のためにできることがあれば、喜んでご協力します。一緒に地域の課題解決に取り組めればと思いますので、お気軽にお声がけください。

詳細情報はこちら



■氏名 児玉 英明（こだま ひであき）

■職位 准教授

■専門分野 社会科教育、商業科教育、
総合的な探究の時間、経営管理



■自治体等における活動実績

【高大連携】

(1) 高崎経済大学附属高等学校「文部科学省 スーパー グローバル ハイスクール」運営指導委員(2014年～ 2019年)

(2) 滋賀県立彦根東高等学校「文部科学省 スーパー サイエンス ハイスクール」運営指導委員(2017年～2022年)

(3) 滋賀県立八幡商業高等学校「文部科学省 スーパー プロフェッショナル ハイスクール」研究指導委員(2017年～ 2020年)

【地域連携】

(1) 大学コンソーシアム京都「第22回FDフォーラム」企画検討委員会 委員長(2016年)

(2) 宮古市「宮古市災害義援金配分委員会」委員長(2025年)

■アピールポイント

(1)「総合的な探究の時間」のカリキュラム開発

地域の高校との「高大連携」を中心に活動してきました。特に、新学習指導要領の「総合的な探究の時間」のカリキュラムや教材の開発を行ってきました。滋賀大学在職時は「高大接続・入試センター」に所属して、スーパー グローバル ハイスクール採択高校などと「高大連携協定」を結び、長期的なスパンで、探究学習のあり方を共同研究しました。

(2) 商業科教育のカリキュラム開発

地域の商業高校との「高大連携」を中心に活動してきました。特に、商業科教育「マーケティング」のケース教材の開発、アクティブ・ラーニングプログラムの開発を行ってきました。

(3) 関連する研究業績

拙稿「商業科教育科目『マーケティング』における探究学習－教科横断的な学びにつながる問い－」『高崎経済大学論集』第68巻第4号、2026年。

拙稿「『資質・能力』による一貫した接続」『文部科学教育通信』第607号、2025年。

拙稿「教養教育の本流4 高等学校『公共』における対話的学びの開口部」『大学教育学会誌』第45号第2巻、2023年。

詳細情報はこちら



■氏名 昇高 茂樹（しょうたか しげき）

■職位 教授

■専門分野 情報システムの構築

■自治体等における活動実績

宮古市立図書館資料選定委員会委員(令和4年～)
宮古市市民自治推進委員会委員 委員長(令和5年～)
宮古市市民交流センター運営協議会 会長(令和6年～)
2024年度宮古市ニュートンスクール講師(プログラミング)
2024年度短大協力会事業プログラミング教室講師

■アピールポイント

情報システムの構築と評価を行っています。
これまでに災害時に避難所の位置情報を表示する情報システムや短期大学部における安否確認情報システム等を構築しています。
現在はビーコンやセンサー等を利用して施設のガイドシステムや利用状況を取得するシステムの構築に取り組んでいます。

詳細情報はこちら



■氏名 鈴木 将人（すずき まさと）

■職位 准教授

■専門分野 経営学

■自治体等における活動実績

- ・岩手県宮古市男女共生推進委員会（令和元年8月～）
- ・岩手県宮古市情報公開・個人情報保護審査会（令和7年6月～）

■アピールポイント

専門分野は、経営学という分野です。経営学の中では、経営戦略・経営組織に関連する研究を行ってきました。最近の研究課題は、製品のコモディティ化などです。これまでに行った共同研究としては、企業のエシカル消費に対する認識や取り組みに関する調査研究に関わりました。

詳細情報はこちら



■氏名 田中 宣廣（たなか のぶひろ）

■職位 学部長・教授

■専門分野 日本語学，社会言語学，地域言語学
（特に，日本語の方言アクセントに関する研究）



■自治体等における活動実績

- ・「東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の実態に関する調査研究」委員（文化庁）
- ・宮古・下閉伊モノづくりネットワーク副会長（岩手県：宮古地域振興センター）
- ・公益財団法人さんりく基金理事（公益財団法人さんりく基金）
- ・県立高等学校教育の在り方検討会議構成員（岩手県：岩手県教育委員会）
- ・岩手県東日本大震災津波復興委員会委員（岩手県：復興防災部復興推進課）
- ・宮古市教育振興基本対策審議会委員（宮古市：宮古市教育委員会）
- ・宮古港外国客船入港時英語通訳委員（宮古市：宮古市国際交流協会）
- ・方言関係講演多数〈例〉「岩手県沿岸部方言の特徴と課題～地域語の観方の注意点～」（野田村），「岩手県内の各方言と比べたケセン語の特色？こんなに違う！？」（大船渡市），「ふるさとを支える方言の力」（九戸村）などほか

■アピールポイント

宮古短期大学部の立地する岩手県太平洋沿岸地域の皆様には，日頃よりお世話になっております。

地域においては，「自治体等における活動実績」に挙げた活動などを務めさせていただいておりますが，「専門分野」に提示のとおり，私の専門科目は，地域言語学，つまり，方言研究です。北は青森県津軽地方，南は鹿児島市まで全国各地の方言を臨地調査し，岩手県内だけでも，100地点以上で言語調査を実施しております。

地域言語学では「言語（方言）を通して地域を理解する」のが目的で，地域の実態について著書や論文で多数発表しています。

最近では，日本学術振興会科学研究費補助金をお預かりし，「三陸ジオパーク」の好立地を活用して「三陸ジオ視点との融合による東北地方北部沿岸域諸方言アクセントの類型に関する研究」のテーマにより岩手県沿岸地域の方言について深く研究を進めています。

この地域の方言について私が初めて科学的に明らかにして発表した事実も多くあります。

それらの成果として，2006年には，『付属語アクセントからみた日本語アクセントの構造』に対して，第34回金田一京助博士記念賞を戴きました。ご案内のように，金田一京助先生は岩手県盛岡市ご出身です。その岩手県に金田一賞の賞状を初めて入れることができました。

宮古短期大学部には，ほかにも地域学研究を実施している研究者がいますので，自治体の皆様には，私たちの研究の成果をご活用いただきたく，特にお願い申し上げます。

詳細情報はこちら



- 氏名 千葉 洋平（ちば ようへい）
- 職位 准教授
- 専門分野 事業継続マネジメント、災害対策
気候変動適応策、経営学



■自治体等における活動実績

- ・米国に本部を置く国際NPO「Direct Relief International」にて、東日本大震災の被災自治体に係る復旧復興プロジェクトに従事（2011年～2012年）
- ・公益財団法人 地球環境戦略研究機関にて、アジア太平洋地域の各国及び自治体の気候変動策に係る政策研究に従事（2012年～ 2019年 ）
- ・国立研究開発法人 防災科学技術研究所にて、国内および海外の企業防災や事業継続マネジメント等に係る政策研究に従事（兵庫県尼崎市、石川県各自治体を含む）（2019年～2025年）

■アピールポイント

2025年4月より岩手県立大学宮古短期大学部に着任しました。岩手県大船渡市出身です。これまで国内外で培ってきた私自身の専門性である防災、復興、そして、民間企業の事業継続という観点から、地域連携に貢献したく考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

詳細情報はこちら



■氏名 東根 一樹（ひがしね かずき）

■職位 講師

■専門分野 代数学

■自治体等における活動実績

- ・日本数学会会員
- ・宮古市社会教育委員会 委員（令和7年10月～）

■アピールポイント

スマートフォンでのメッセージのやりとりや、インターネットでの買い物など、私たちの生活には「他人にみられたくない情報」がたくさんあります。こうした情報を守るために暗号が活用されています。暗号には「数学的に解読が非常に困難な問題」が利用されており、例えば「大きい数をいくつかの素数の積に分解するのは非常に時間がかかる」という性質を利用した暗号が代表的です。このような仕組みの背後には、「有限体」や「整数環」といった代数学の概念があります。代数学は「整数」や「多項式」といった基本的な対象も扱いますが、それらの性質や構造を深く探求する抽象的な分野です。その理論は、現代社会を支える様々な情報技術の基盤となっており、私たちの日々の暮らしの中でも重要な役割を果たしています。私は代数学の研究を通して、こうした理論を深く理解し、その知見を伝えることで、抽象的な理論を社会に活かす素地を持つ人材育成に取り組み、地域社会への貢献を目指しています。

詳細情報はこちら



■氏名 三村 敬之（みむら たかゆき）

■職位 准教授

■専門分野 英語学・言語学(理論言語学)

■自治体等における活動実績

- ・宮古市社会教育委員(平成25年～令和5年)
- ・宮古市奨学生選考委員(平成28年～令和6年)
- ・岩手県教育連絡協議会役員(令和4年～令和6年)
- ・宮古市生涯学習推進会議委員(令和元年～令和3年)
- ・宮古市北上山地民俗資料館運営委員会委員(令和元年～令和5年)

■アピールポイント

英語や日本語といった人間が話す自然言語の構造や仕組み、またそもそもなぜ人間がことばを話すのかということを研究しています。母語習得、さらには第二言語習得に繋がる英語教育に関しても研究を行っています。

詳細情報はこちら



■氏名 和川 央（わがわ ひろし）

■職位 准教授

■専門分野 公共政策、社会工学、Well-being



■自治体等における活動実績

■自治体との共同研究（地域協働研究）

2023年4月～2024年3月

盛岡市「政策形成に活用できる住民意識調査とは？」

2024年4月～2025年3月

金ケ崎町「自治体政策からみた「住みやすさ」と「幸福感」の関係性の分析～町民アンケート結果を活用した施策への反映可能性の検討」

■審議会委員（岩手県）【現職】

- ・岩手県政策分析アドバイザー
- ・岩手県総合計画審議会「県民の幸福感に関する分析部会」副会長
- ・岩手県政策評価委員会副委員長及び政策評価専門委員会委員長

■審議会委員（市町村）【現職】

- ・宮古市「まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会」委員長
- ・花巻市「まち・ひと・しごと創生有識者会議」座長代理

■アピールポイント

▶経歴等

- ・地域政策研究センター Well-being研究部門長
- ・専門社会調査士
- ・元岩手県職員

▶専門分野のキーワード

- ・公共政策：政策分析、政策評価
- ・社会工学：統計分析、アンケート調査
- ・Well-being：Well-being政策、Well-beingと政策の関係分析

詳細情報はこちら



地域に 未来に 多様なアートを



岩手県立大学 宮古短期大学部

Iwate Prefectural University, Miyako Junior College



宮古短期大学部HP

<http://www-myk.iwate-pu.ac.jp/>

〒027-0039 岩手県宮古市河南一丁目5番1号

TEL 0193-64-2230 FAX 0193-64-2234